

2022年10月27日  
グッドルーム株式会社  
株式会社学生情報センター

## 新社会人のお部屋探しに新提案

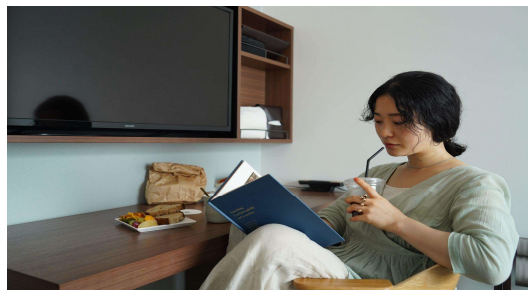
卒業後、学生マンションから旅立つ新社会人に優しいサービスを目指し提携開始



ホテルのサブスクリプションサービス「goodroomホテルパス」（以下、ホテルパス）を運営するグッドルーム株式会社(本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：小倉弘之、以下「グッドルーム」)と、学生マンションなど学生用賃貸住宅を運営する株式会社学生情報センター(本社：京都市下京区、代表取締役社長：吉浦勝博、以下「ナジック」)は、大学などを卒業後、就職する新社会人の新しい住まいの形としてホテル暮らしを提案するため提携し、この度サービスを開始いたしました。

### ■提携内容

- ・ 実施期間 : 2022年10月～2023年3月中のお問合せ(予定)
- ・ 対象者 : 学生マンションに入居中でホテルパス新規契約の方
- ・ 応募方法 : 特設ページ内のお問合せフォームから必要事項を記入
- ・ 特典内容 : Amazonギフト券5,000円分
- ・ 特典受取方法 : 入居開始後メールにてギフト券送付



### ■今回の提携でターゲットとするユーザーは新社会人

- ・ 学生マンションを退去し、新社会人になる方
- ・ 就職活動中のために、一時的な仮住まいを探している方
- ・ 配属先が決まるまでの一時的な仮住まいを探している方
- ・ 会社から近い都心エリアに住みたい方

### ■学生マンションを退去する学生をもっとサポートしたいという思いから提携へ

グッドルームとナジックは2016年より、学生のお部屋探しの検索サイトの充実や学生マンションのリノベーション等での協働を通じて、ひとり暮らしのお部屋探しをされる学生とその保護者や、入居学生、学生マンションオーナーの満足向上を図ってまいりました。

退去される学生を対象にした具体的なサービスはこれまでになく、初の取組みとなります。学生マンションの性質上、入居していた学生は卒業後に退去されますが、就職先の配属先が未定で、仮住まい探しについてご相談いただくケースも少なくありません。この度提供する「ホテルパス」により、これまで以上に学生の退去後の生活を応援してまいります。

サービスの特徴については、「〈別添〉ホテルパスが新社会人など若い方におすすめな理由を徹底分析」をご参照ください。

以上

## ■会社概要

### ・グッドルーム株式会社

代表者：代表取締役社長 小倉弘之

所在地：東京都渋谷区 創業：2009年

事業内容：賃貸のリノベーション工事・賃貸メディア「goodroom」の運営および仲介・シェアオフィスおよび  
マンスリーマンションの運営・長期滞在専用のホテル予約サイト「hotelpass」の運営

<https://www.goodrooms.jp/corp/>

### ・株式会社学生情報センター

代表者：代表取締役社長 吉浦勝博

所在地：京都市下京区 創業：1975年

事業内容：学生用賃貸住宅の開発・管理運営、学校寮の管理運営、学生のキャリア形成支援

<https://tokyu-nasic.jp/>

学生情報センターは東急不動産ホールディングスの一員です。

## ■問い合わせ先

グッドルーム株式会社 ホテルパス広報担当 岩田

E-mail：[pr.hotelpass@haptic.co.jp](mailto:pr.hotelpass@haptic.co.jp) / TEL：070-3985-8186

※メディアご担当者さまの試泊やユーザーインタビューもお気軽にお問い合わせください。

株式会社学生情報センター 広報室 寺田

E-mail：[ritsuko-terada@tokyu-nasic.jp](mailto:ritsuko-terada@tokyu-nasic.jp) / TEL：090-9997-0457

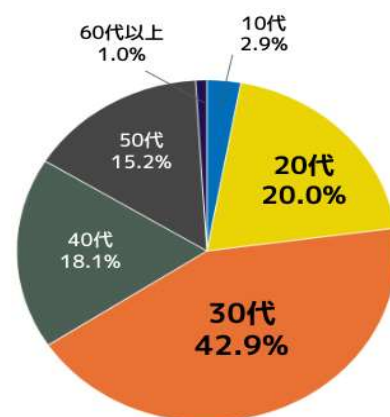
## 〈別添〉ホテルパスが新社会人など若い方におすすめな理由を徹底分析

### ■20～30代の新卒や働き盛りの年代がホテルに“住んで”いる

「ホテル暮らし」と聞くと、金銭的に余裕のある暮らしをしている限られた層だとイメージされることが多いが、実は働き盛りの年代層が最も多く(※)、今回ターゲットとするユーザーとも親和性が高いユーザーと言える学生から社会人になる客層を取り込む。

(※) goodroomホテルパスユーザーアンケート第2弾

(期間：2022年8月1日～8月14日 エリア：全国)

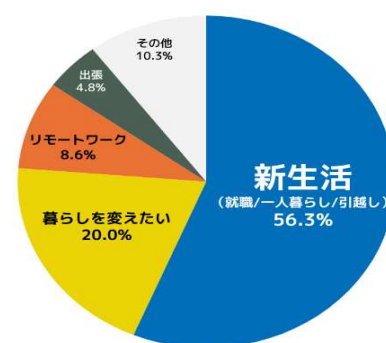


### ■半数のユーザーが“新生活”でホテル暮らしを選択

ホテルパスが独自で行ったアンケート(※)によると、ホテル暮らしを始めたきっかけは就職や引っ越しなどの新生活という回答。このタイミングで、賃貸住宅暮らしからホテル暮らしへ移行するユーザーが5割以上と最も多い結果となっている。まさに、春から新生活を始める学生マンションの退去者に提案したい暮らし方だ。

(※) goodroomホテルパスユーザーアンケート第2弾

(期間：2022年8月1日～8月14日 エリア：全国)



### ■新生活にホテルパスを使うメリット

#### ①「一旦」住む場所に最適

就活中や配属先決定前に賃貸で住まいを決めることは、エリアの指定ができず部屋探し期間もタイトになりがちで難しいとされているが、ホテルパスなら、最短14日で住み始めることができるので、フレキシブルな状況に対応可能。

#### ②多忙な日々、満員電車に乗らなくていい

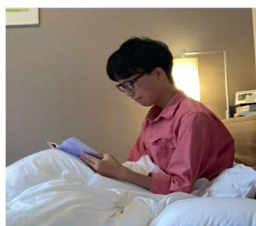
ホテルの長期滞在サービスとして掲載数No1のホテルパスは、都心から観光地まで、提携している800以上の施設から毎月住む部屋を選ぶことができる。最寄り駅から平均8分程度のホテル暮らしによって、満員電車の混雑を回避でき、勤務地に遠い自宅から通勤する必要がなくなる。

#### ③初期費用を抑えることができる

初期費用は9,800円で、家賃は8万円～12万円\*ほど。通常は家賃1か月分の1.5ヶ月分かかると思われる初期費用が大幅に安く済む。\*ホテルパスで人気の施設の価格帯。

ホテルパス詳細 URL：<https://livingpass.goodrooms.jp/>

### ■実家を出て初めての一人暮らしは「ホテル」で



新生活でホテル暮らしを始めた20代の新社会人男性によると、「ホテル暮らしはとにかく精神的にも身体的にも「楽」だと感じる人が多い。ホテルは基本的に駅近で、帰宅したら掃除がしてあり家事をする手間が省け自分の時間を増やすことができる。」とコメント。(当ユーザーへのインタビューも受け付けております。お気軽にお問い合わせください。)

#### ■goodroom ホテルパスとは

「暮らしぜんぶ、いいとこどり。」をコンセプトに、全国47都道府県各地800施設以上\*と提携するホテル暮らしのサブスクリプションサービス(\*2022年9月末現在)。テレワークや観光地での旅するような暮らし、多拠点生活などに適したホテルを、賃貸と変わらないリーズナブルな定額制(月額6.98万円～)で利用可能。サービス開始日：2020年6月 / URL：<https://livingpass.goodrooms.jp/>